

一般財団法人 民間都市開発推進機構常勤役員選考経過・選任理由

令和4年10月1日
一般財団法人 民間都市開発推進機構

令和4年10月1日、当機構役員の選任が行われるとともに、同日に常勤役員としての選定が行われました。

選任された役員に係る情報、選考経過は以下のとおり

1 役員に係る情報

役職名	氏名	年齢	就任年月日	前職等
常務理事 (業務執行理事)	渡邊 浩司	59歳	令和4年10月1日	国土交通省大臣官 房技術審議官(都 市局)

2 選考経過

常勤役員の選考に当たっては、公務員OB以外の有識者による役員評価委員会において書類審査及び個別の面接を行い(9月14日)、候補者として適任であるとの評価を得た上で、評議員会に提示、審議の上、10月1日理事に選任、同日付けで理事に就任し同日の理事会において常務理事に選定されたところである。

3 選任理由

当機構は、「明日のまちづくりをサポート」を基本理念として、民間事業者による都市開発事業に対し、金融面を中心に情報面・実施手法面を含めた多様な支援を行うことを使命としている。

渡邊浩司氏は、国土交通省、JR東日本、地方公共団体等において、都市計画、都市整備に関わるポストを歴任し、都市開発、地域の活性化など幅広い行政分野に亘る豊富な知見を有している。さらに、民間による街づくりの企画や計画にも精通するなど、企画立案から関係機関等の調整、実施にいたるまでの実務経験が豊富であり、当機構の金融企画及びまちづくり支援担当理事として、業務を遂行していく上での必要な経験及び実務能力を十分備えているものと判断された。

以上から、役員評価委員会において、その知識・経験、実績に照らし、役職に適任であるとして認められ、これを踏まえ、評議員会、理事会において選任・選定された。